

令和6年第3回定例会

9月5日～9月10日（6日間の会期）

全議案・原案可決

決算特別委員会報告

9月5日開会初日、本会議に提案された令和5年度境町一般会計及び特別会計並びに水道事業会計の決算認定については、委員10名による決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

委員会は、9月9日に開催され、慎重に審査をした結果いずれの会計とも認定すべきものと決定し、9月10日の本会議において委員長報告のとおり全会一致をもって認定されました。



決算特別委員会
岩崎 博 委員長

監査委員決算審査報告

5月27日から8月9日まで（実日数6日間）に、令和5年度境町一般会計及び特別会計7件、並びに水道事業会計の審査を行い、その結果について山本監査委員より次のとおり報告がありました。

○一般会計

歳入財源は、前年度より町税・交付税収入等が増額となり、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金として活用した負担金補助金、地方創生拠点整備交付金等の財源を活用したことにより、施策・事業を効果的に実施した結果であることが認められる。

歳出については、これまでも実施しているように、国・県補助金、基金等の財源を組み合わせ、極力町の負担を軽減する取組が伺え、順調に執行され、魅力あふれる町づくりのための事業を展開して行財政運営に努められたことが確認できる。

○特別会計

独立採算制の原則に則って財源確保のための徴収率向上に努められた。

国民健康保険事業については、国保加入者数、国保税収入が減ったものの、保険者努力支援金の獲得等により、順調

に業務が遂行出来ていることを確認できる。

介護保険事業については、地域支援事業交付金等を活用した介護予防事業を実施して、給付費の削減に努め基金の積立を行うなど、順調に業務が遂行出来ていることが確認できる。

公共下水道事業や農業集落排水事業についても、処理場等の老朽化に伴い整備件数の増加が予想されることから、処理施設の最適整備構想化計画に基づき、効果的な整備に努めていただきたい。

今後の行財政運営に当たっては、より効果的かつ効率的な実施に努め、多様化している住民ニーズや社会情勢に順応した事業等を計画的に実施していくよう望むものである。

水道事業では、各設備が老朽化している様子が伺えることから、資産の更新計画に基づき、大規模な災害にも耐えられるよう、計画的に浄水設備の更新改修、耐用年数切れ埋設管の布設替及びその他必要な設備改修及び交換を進め、安心・安全に利用できる水道水の安定供給を図られるよう要望する。